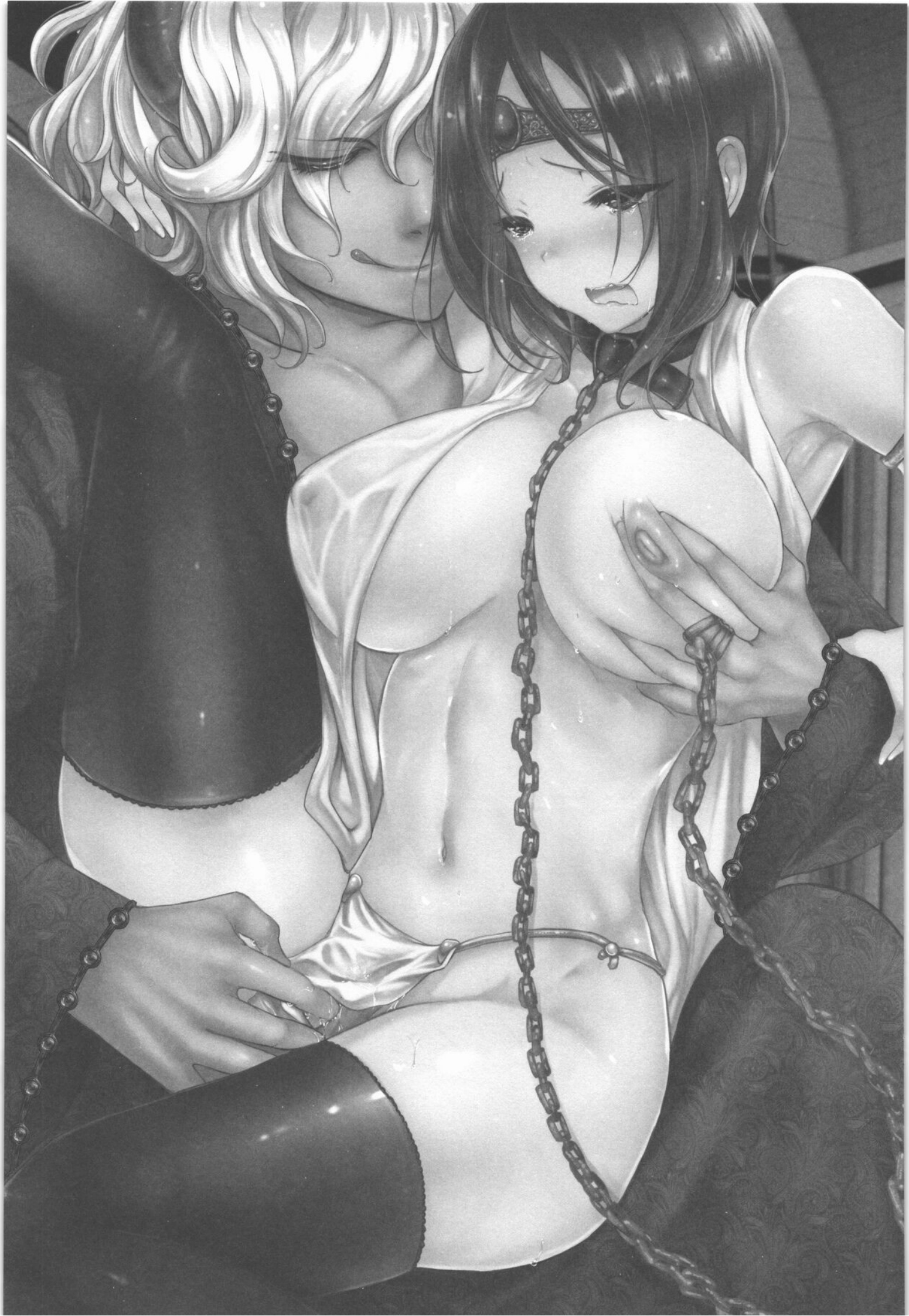


勇者が女体化  
しちゃった  
魔王にハメ  
られました








私は神聖王国より  
遣わされたる勇者ファイス!




出てこい、魔物の主よ!



こんな廃墟まできて  
突然剣を抜くとは  
穏やかではないな、勇者とやら



妾に何用か?



魔物を暴走させ  
人々を苦しめるお前を  
討伐しにきた!  
覚悟しろ!



力が萎え  
身体が変質し  
死に至る呪いだ

魔王の側近である言蛇の魔女に  
単独で立ち向かうとは  
無知なことよ



これは感染し拡大する故  
助けを求める事もかなわず  
孤独に彷徨い続けるしかないぞ

その身の程知らずの蛮勇に  
罰をくれてやろう  
人の子よ



えっと…  
これを解呪出来るのは  
迷いの森の魔人くらいしか  
おらんだろうな？

探すのは難しいだろうな  
せいぜい苦しむがよい

ほあ…

—迷いの森深部—

探し続けて  
幾日か...

ふ

ガ

ん

本当に居るかも  
わからない人物を探じて  
あるき続けているけれども...

はま

はま

人を救わんと  
血の滲むような鍛錬を積み  
やつと勇者になつたというのに...

ふん

こんなところで  
力尽きるのか...

ガ



大丈夫ですか？  
まさかこんなところに  
人間がいるとは



おや？

角…？



迷いの森の  
魔人って  
この人だよ…

あ…りがとう  
ございます…



おと  
これはいけない  
だいは弱っているようだ  
ボクの家はすぐそこです  
休んでください



喜んで  
お世話しますから  
遠慮しないで



いいですよ可愛い人

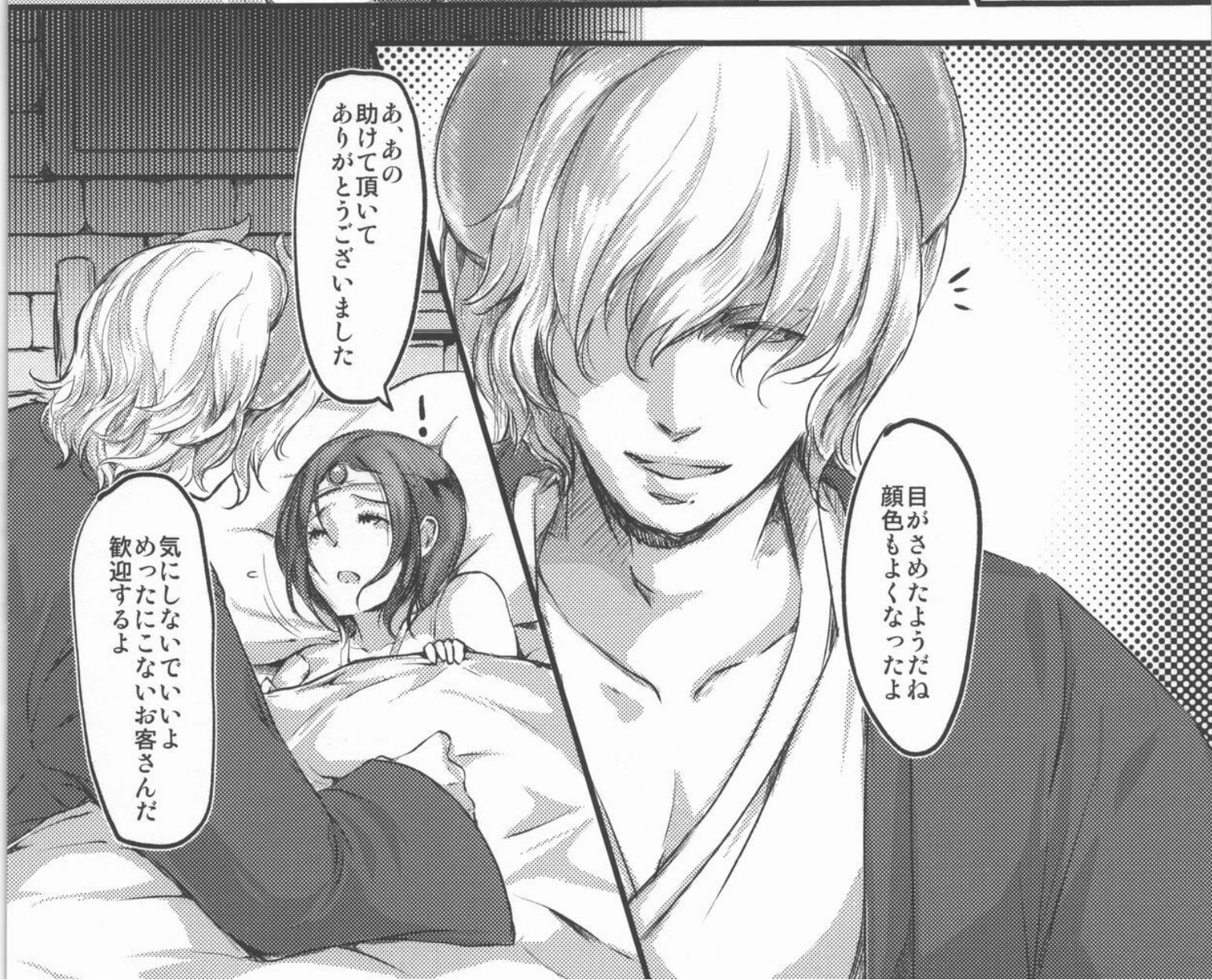
なんだか  
ちよつと変だけれど  
優しいので良かった…



知らない部屋...?

ああ...そうか  
森で彷徨って...  
助けてもらって...

ん...



あ、あの  
助けて頂いて  
ありがとうございます

目がさめたようだね  
顔色もよくなったよ

気にしないでいいよ  
めったにこないお客さんだ  
歓迎するよ



君の身体から立ち上る  
瘴気のパターンからね



え…と  
なぜそれを



ああ、君にかけられている  
呪いの事かい？

あの…  
貴方に用があつて  
ここまで来たんです



あのっ  
なにを…

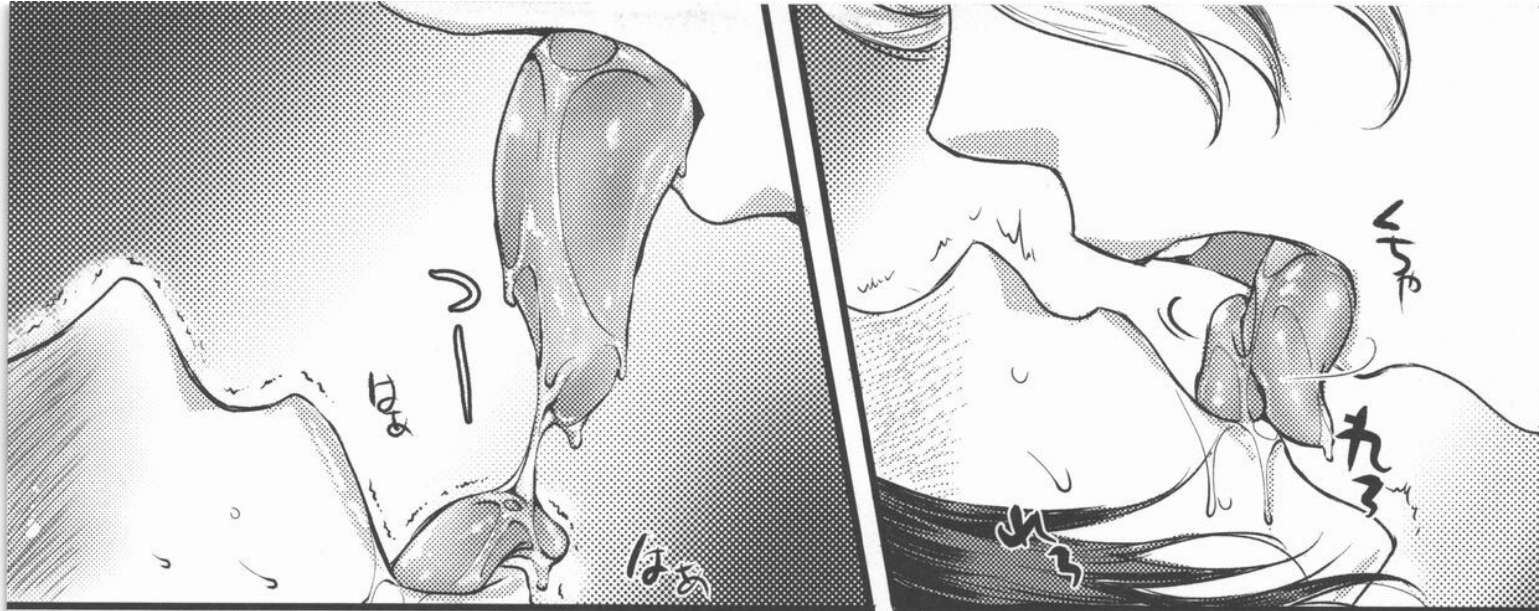
決まってるじゃないか  
解呪してほしいんだよね？



言蛇の魔女に  
意地悪されたんだらう？

ええ…私は  
神聖王国の勇者で…  
討伐しようとして…







勇者さん、  
殆ど女の子に  
変化しちゃってるね  
かなり繊細な  
呪術だから  
時間がかかるよ

こい子だね：  
これから身体中に  
触れて注入するからね



身体の感覚も  
女性になってるから  
いつもと違って  
恥ずかしがらないでね



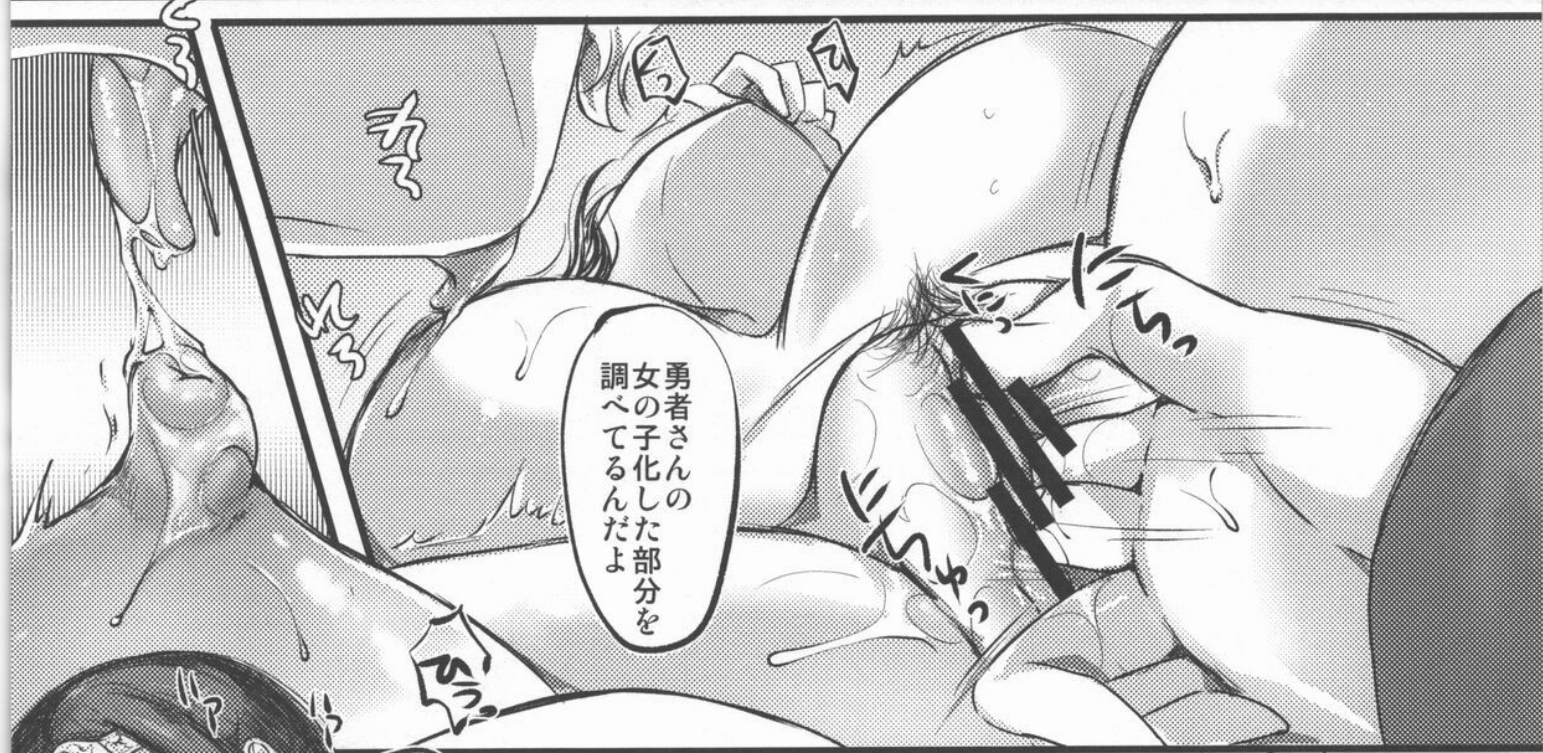


あ、  
ユールク…っ  
指が…

ユールクと

まっ  
魔人さんっ

勇者さんの  
女の子化した部分を  
調べてるんだよ



よかつた…  
元に戻るん  
です…ね

大体わかつた





女の子の部分を  
トロトロになるまで  
ほぐすね♥

そ…  
それは必要な  
事なんですか？



勿論！  
解呪するの  
にとても重要  
な作業だよ♥

ああ…ピンク色の髪が  
ヒクヒクしてて  
おいしそう♥

たっぷり舐めて  
あげるね♥

え…  
ちよつと待っ…  
ひっ







はっ...

今からボクの  
魔力を注ぎ込むからね

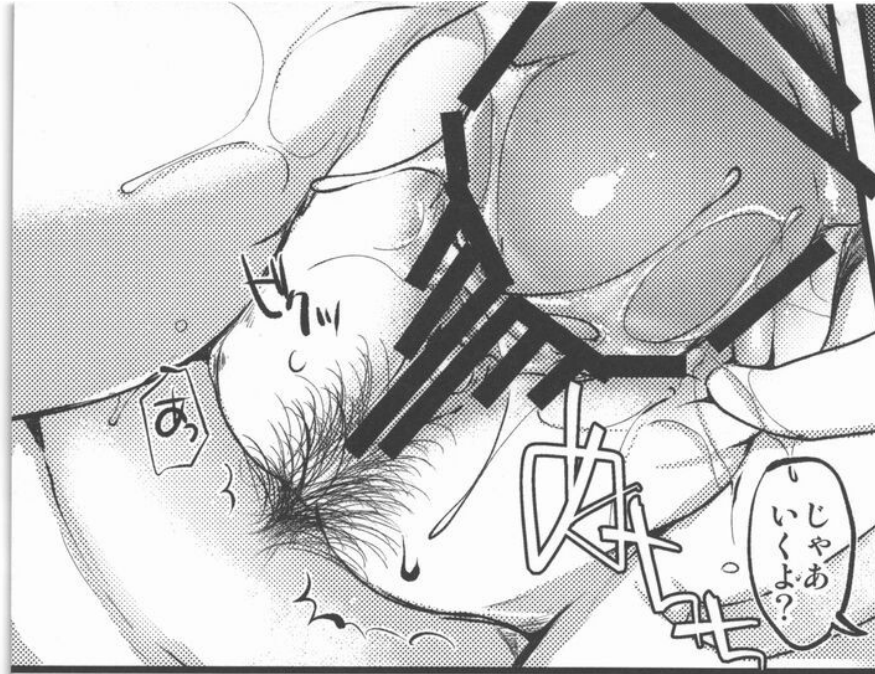
少しくらいでも痛かったら  
辛かったりしたら  
我慢しないで  
言っつけてね？♡



魔力を注ぐって...  
まさか...

勇者さんのおまんこを  
なめまわしてたら  
ボクのが  
パンパンに  
膨らんじゃってね♡

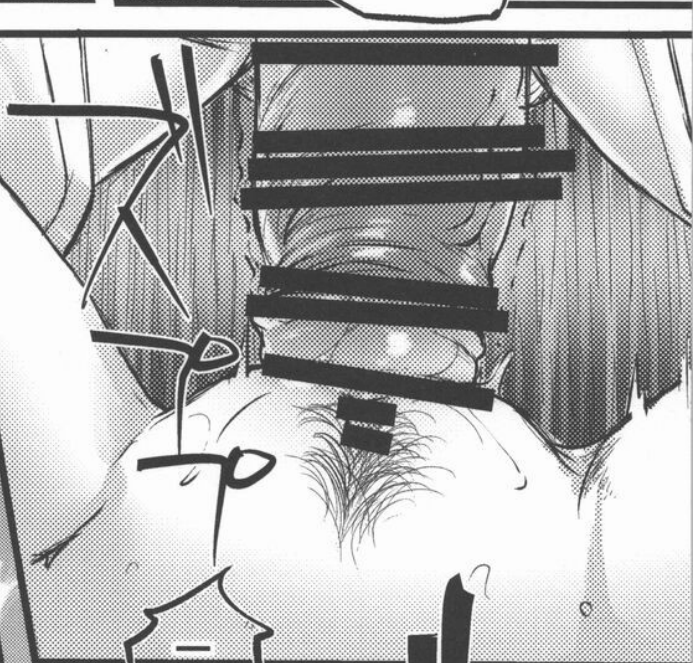
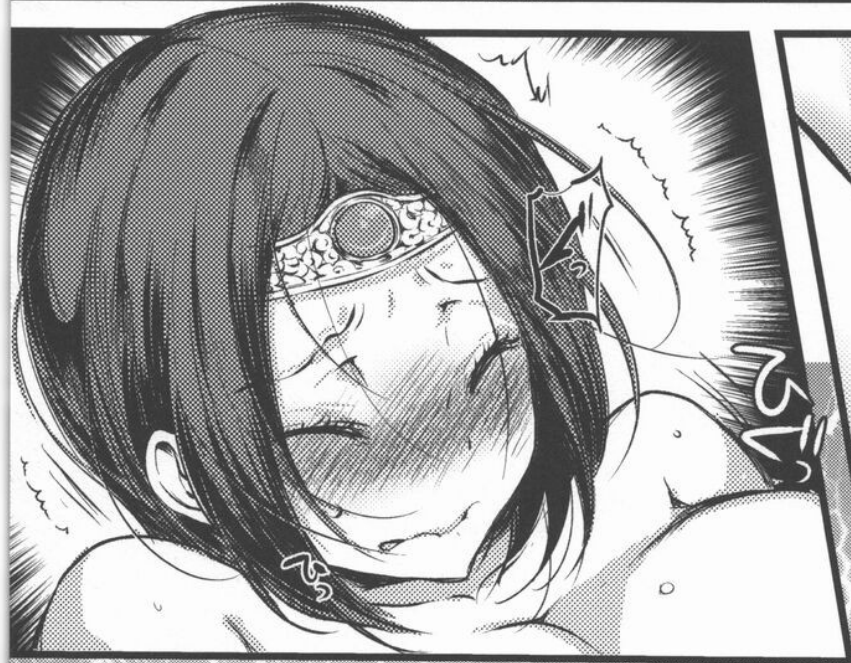
それじゃあ  
挿入れるからね？



す、すみません  
続けてください…

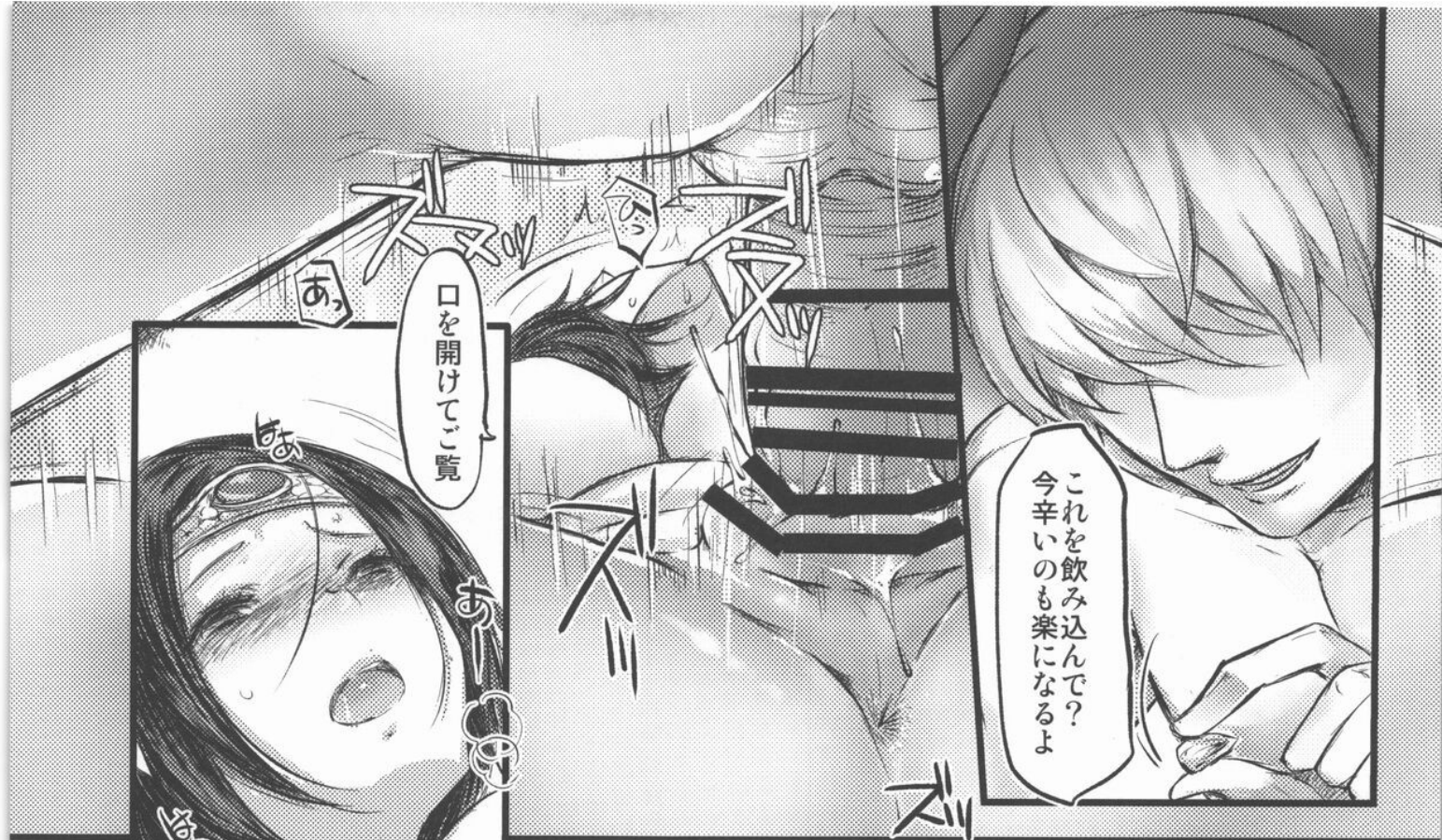
力を抜いて  
リラックスして？  
今ストップしたら  
また最初から  
やり直すことにな  
ってしまふよ？

じゃあ  
いくよ？



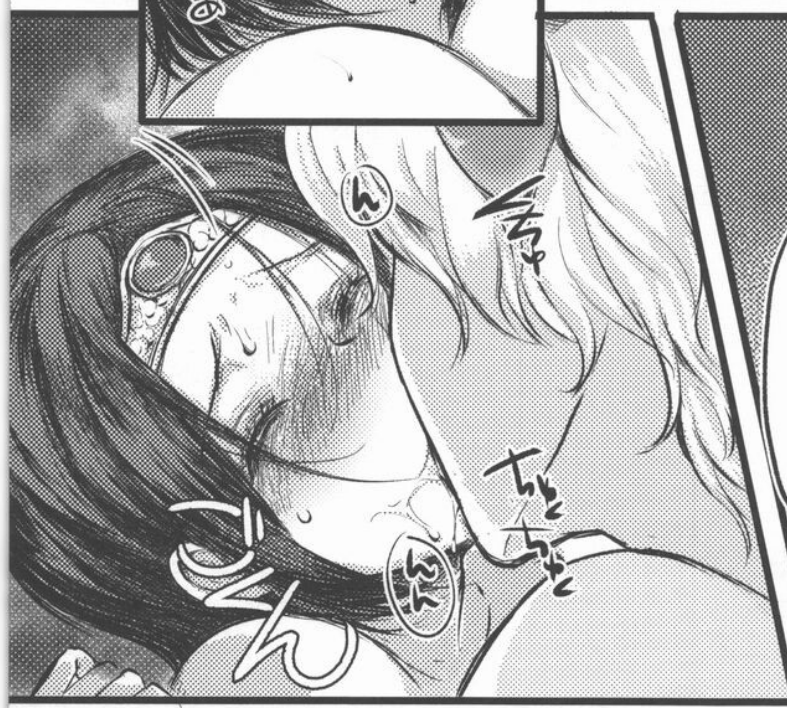
一気に押し込むよっ





口を開けてご覧

これを飲み込んで？  
今辛いのも楽になるよ



いい子だね  
すぐ効いてくるから



どう？  
身体が楽になってきたけど…  
なんだか火照ってきて…







もう…  
イクよ…  
ボクの魔力  
ファイスの子宮にたっぷり  
注ぐよっ

勇者…  
ファイスっ







部下も皆待つておりますゆえ一刻も早くお戻りください!



いつ魔界に戻られるんですか?



はまは  
いやあ、面倒だし  
ファイブも手に入ったし  
自分その気はないよ?



妾はあのひどい茶番に付き合いましたし

勇者を女にする魔術もかけたではないですか！

そうそう、協力してもらってほんっと助かったよ！お陰で自分からこっちにきてくれたもんねー

あのハロ本  
じつはこれ  
ですよ



もっ！！  
何度も勇者を  
騙って  
満足いたしましたでしょう？  
あの程度の容姿や力をもつ  
者なら城にいくらでも  
おりましように！！

いやあ、ファイスの事  
一目惚れだったんだよ？  
魔鏡で人界覗いてた時に  
あの子の姿をみたら  
魂の質がすごい好みで

ん  
生きた  
おまえにはとても感謝しているよ  
どうしても手に  
入れたくなっちゃって  
協力してもらって



でもさあ  
部下にファイスの事  
喋ったり殺そうとしたり  
余計な手出しをしたら

魔界ごと消滅  
させるからな？



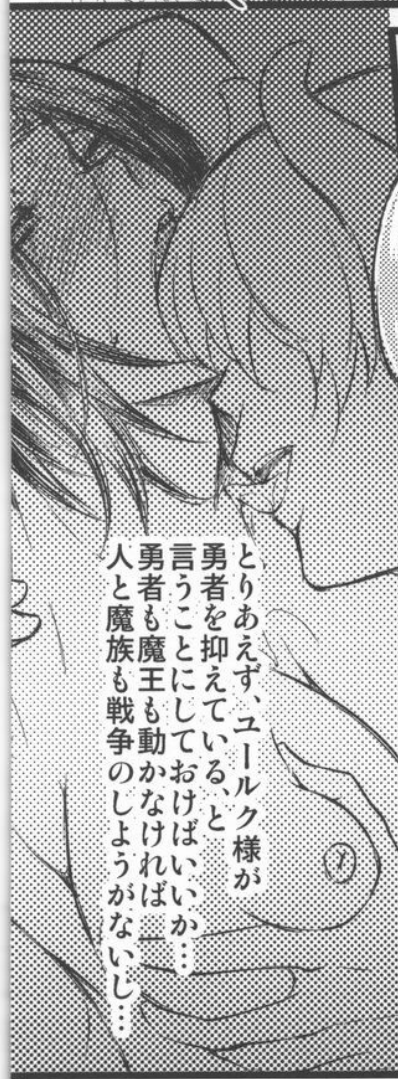
か〜く〜

二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、九つ、十つ、十一つ、十二つ、十三つ、十四つ、十五つ、十六つ、十七つ、十八つ、十九つ、二十つ、二十一つ、二十二つ、二十三つ、二十四つ、二十五つ、二十六つ、二十七つ、二十八つ、二十九つ、三十つ、三十一つ、三十二つ、三十三つ、三十四つ、三十五つ、三十六つ、三十七つ、三十八つ、三十九つ、四十つ、四十一つ、四十二つ、四十三つ、四十四つ、四十五つ、四十六つ、四十七つ、四十八つ、四十九つ、五十つ、五十一つ、五十二つ、五十三つ、五十四つ、五十五つ、五十六つ、五十七つ、五十八つ、五十九つ、六十つ、六十一つ、六十二つ、六十三つ、六十四つ、六十五つ、六十六つ、六十七つ、六十八つ、六十九つ、七十つ、七十一つ、七十二つ、七十三つ、七十四つ、七十五つ、七十六つ、七十七つ、七十八つ、七十九つ、八十つ、八十一つ、八十二つ、八十三つ、八十四つ、八十五つ、八十六つ、八十七つ、八十八つ、八十九つ、九十つ、九十一つ、九十二つ、九十三つ、九十四つ、九十五つ、九十六つ、九十七つ、九十八つ、九十九つ、百つ



二

とにかく忙しいの！  
当分帰らないから  
仕事はお前が適当にやっといて！



とりあえず、ユールク様が  
勇者を抑えている、と  
言うことにおおげばいか  
勇者も魔王も動かなければ  
人と魔族も戦争のしようがないし



あはも  
せたい

ここ数百年で穏やかになったと思っ  
ていたけれども  
破壊の化身と呼ばれていた頃と  
何も変わってないじゃない



目にその  
皆殺し



ちよつとだけ  
勇者に  
同情してしまっけれども

強  
く  
生  
き  
て  
い  
たい

南

あとがき

どうも英田です。

今回はくらくたい  
おはねUになりました



あと、ショートカットの  
#のともさん2は  
します。大変おすかたです。

次回は何にしようかなー？

ではまた

2016.12.某日



当初の予定より  
アホになりました  
筆者さん  
ラスト音声を  
たいてい「はしる  
ちよと444に  
なりましたねあ...

# 勇者が女体化しちゃったら 魔王にハメられちゃいました

発行 英田舞/Lagarto

発行日 2016/12/31

印刷 金沢印刷様

連絡 [aidamai.lagarto@gmail.com](mailto:aidamai.lagarto@gmail.com)

無断転載 無断アップロードを禁じます  
成人向けの表現がありますので未成年の閲覧購入を禁じます

**Lagarto**